

徳島大学



▼ 熊本地震に係る支援活動の概要

1. DMAT、医療支援チームの派遣

・4月16日から5月3日まで、阿蘇地区等へ、のべ22名を派遣した。

派遣先	派遣期間	派遣人数
阿蘇地区	4月16日～4月20日	DMAT派遣5名（医師1名・看護師2名・業務調整員（薬剤師）1名・業務調整員1名）
宇城市・宇土市	4月23日～4月28日	DPAT派遣4名（精神科医師1名・看護師1名・業務調整員（臨床心理士）1名・業務調整員1名）
宇城市	5月17日～5月22日	DPAT派遣（精神科医師1名）
阿蘇地区	4月21日～4月24日	徳島県医療救護班3名（救急部医師1名・看護師1名・業務調整員1名）
阿蘇地区	4月23日～4月27日	徳島県医療救護班3名（整形外科医師1名・看護師1名・業務調整員1名）
阿蘇地区	4月26日～4月30日	徳島県医療救護班3名（脳神経外科医師1名・看護師1名・業務調整員1名）
阿蘇地区	4月29日～5月3日	徳島県医療救護班3名（消化器外科医師1名・看護師1名・業務調整員1名）

2. 教職員・学生ボランティアの派遣

派遣先	派遣期間	業務	派遣人数
熊本市内の小・中学校	6月20日～6月24日	スクールカウンセラー（非常勤）	臨床心理士 1名
熊本県	6月30日～7月2日	民家の片付け、道路整備	学生 1名
宇城市	4月30日～5月1日	がれき撤去等	学生 1名
西原村	7月1日	がれき撤去等	学生 1名

3. 支援物資の提供

提供先	派遣期間
熊本各地（ロアッソ熊本経由）	学生サークルによるウェットティッシュ、非常食などの提供（4月24日）

4. 義援金募集

寄附先	金額	団体
日本赤十字社	527,129円	学内教職員、学生
日本赤十字社	700,022円	医学部学生有志
わかばmeeting	46,628円	学生、一般職員

5. 被災大学の学生・教職員支援、被災者への支援（住宅提供等）

・図書館では、被災地学生の図書館利用やパソコン利用を可能にした。また、熊本・大分両県の大学等機関からの文献複写依頼について、文献複写物を無料提供した。（4月26日～6月17日）
 ・酵素学共同利用・共同研究拠点において研究環境の提供を行った。（公募期間6月20日～7月31日）
<http://www.tokushima-u.ac.jp/ier/cooperative/phish.html>

6. 研究活動

・4月16日及び4月22日～24日、環境防災研究センター長ら、複数の教員による災害調査を実施し、5月9日に徳島大学にて熊本地震調査速報会を開催し、98名の参加者があった。

<http://www.tokushima-u.ac.jp/docs/2016051900020/>

・7月29日、病院では、平成28年度第1回徳島県災害医療対策協議会・災害拠点病院、災害医療病院長事務（部・局）長会議合同会議で、DMAT隊として派遣された本院医師が被災地の活動報告を行った。

・総合科学研究部国際教養コースの教員が「熊本支援方言プロジェクト」の一員として、方言による被災者と支援者のコミュニケーションに関わる諸資料を作成し、ネットにアップするとともに関係機関に配布 <http://www.fukujo.ac.jp/university/other/hougenpj.html>

・徳島大学サポート系サークル「ふるさと愛好会」は、7月14日に徳島大学附属図書館において、熊本へボランティアに参加した学生による熊本の被災地支援報告会を開催した。

・理工学部では、教員を主とする複数の研究チームが現地調査を実施し、8月19日の地盤工学会四国支部等で報告を行った。

7. その他